

教師の指導力の向上

今週のひとこと English

毎週水曜日の朝朝で、教室英語の練習を輪番で行っています。



全学年、研究授業を実施し、指導力向上に努めています。



参加型
校内研修

朝の会で、今日の日付・曜日・天気を英語で確認しています。

今週のひとこと English #26
話を聞かせる(作業を定める)ときに「手拍子」
Touch your knees!
タッチ ヨウワ ニズ



英語環境づくりの取組

研究部だより発行

○本校の英語教育の実際を保護者に紹介しています。

Ozaka show.com

研究部だより発行

本校の英語教育の実際を保護者に紹介しています。

1 Grade すうじでうたおう

3Grade [I like blue 好きな色を伝えよう]

4Grade [Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう]

英語教育のあしあと

これまでの授業の様子を「英語教育のあしあと」として校内に掲示しています。

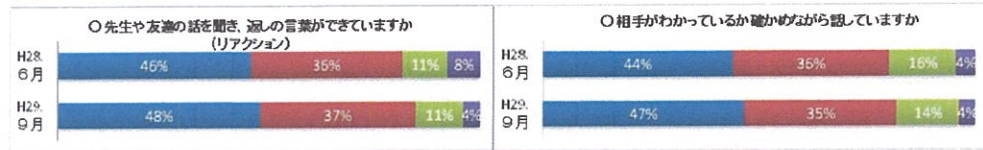
「英会話クラブ」で作成したクイズを校内に掲示しています。

イングリッシュコーナー

おざかっこアンケートの結果から (H28. 6月・H29. 9月実施)

コミュニケーションポイントから

■ とても ■ できる ■ 少し ■ もう少し



【成果と課題】

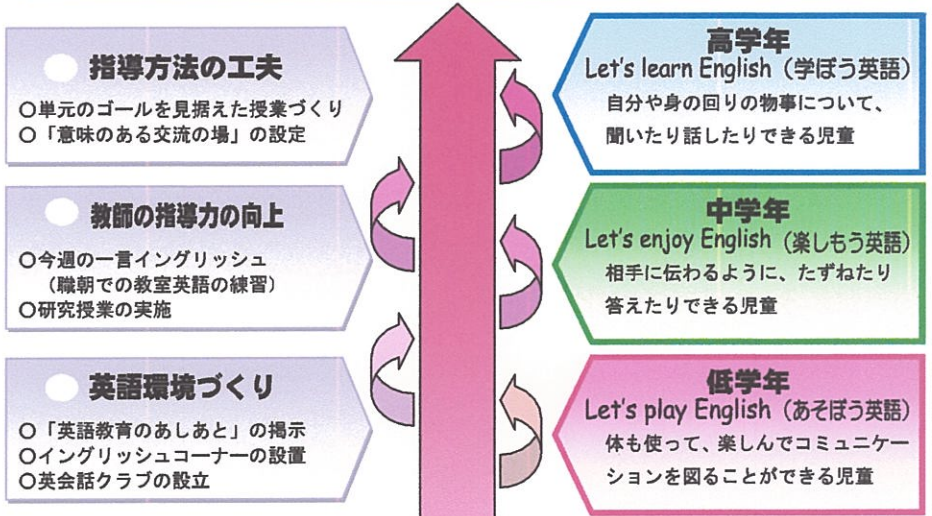
- 「チャンツ」や「アクティビティー」での反復練習により、児童が自信を持って話す姿が見られるようになった。
- 授業を重ねるごとに、返しの言葉(リアクション)を理解し、進んでできる児童が増えてきている。
- ▲相手がわかっているか確かめながら話す力をさらに高めていきたい。

平成28～30年度 文部科学省教育課程特例校(英語教育) 平成28・29年度 熊本県「生きる力」を育む研究指定校(小学校英語教育研究推進校) 御船町立小坂小学校研究発表会概要

研究主題
豊かなコミュニケーション力を身に付け、国際社会をたくましく生きる児童の育成を目指して
～どの子どもも楽しく「分かる・できる」授業のUDを通して～

目指す児童像

- 楽しんで英語でのコミュニケーションを図ろうとする児童
- 英語の音声に慣れ親しみ、日常生活の簡単な英語を聞いたり話したりできる児童



仮説1 必然性を持たせ、「意味のある交流の場」を設定すれば、児童自らコミュニケーションを図ることができるだろう。

仮説2 音声に十分に慣れ親しませれば、児童が自信を持ってコミュニケーションを図ることができるだろう。

小・中学校9年間を見通した系統 → 学習内容・発達段階に応じた活動内容・評価方法 小中連携

授 業 の U D

アセスメント → 授業内の評価・振り返りカード・意識調査・実態調査

単元の目標

単元末の児童の姿を考えて

単元のゴール

を設定する

単元計画

お おさえる

単元のゴールを知る

*単元末の児童の姿を明確に

ざ ざいりょうをそろえる

単元の中で身に付けたい単語や表現に十分に慣れ親しませる

*単語から表現に聞く活動から話す活動へ

か かんがえる

コミュニケーション活動の充実

*相手意識を持って発見のある、伝えたい場でのコミュニケーション

ま まとめる

プレゼンテーション

まとめ

「単元のゴール」を見据えた授業づくり

仮説 2

音声に十分に慣れ親しませれば、児童が自信を持ってコミュニケーションを図ることができるだろう

仮説 1

必然性を持たせ、「意味のある交流の場」を設定すれば、児童自ら「コミュニケーション」を図ることができるだろう

| 過程 | 学習活動 |
|------------|---|
| おさえる | <p>1 Greetings (あいさつ)</p> <p>○Greetings(あいさつ)や Let's sing(歌) 笑顔で楽しくスタート</p>  <p>Today's goal</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールから本時のめあて(Today's goal)、1時間の流れを確認する。 Small Talk や復習活動から本時へつなぐ。 |
| ざいりょうをそろえる | <p>2 Chants</p> <p>○「Chants」や「Activity1」で、本時の学習内容を繰り返し「聞く」「話す」活動で音声に慣れ親しませる</p> <p>同じフレーズを繰り返し聞き、スモールステップの学習から、自信を持って話せるようにする。</p> <p>体を動かしながら、楽しく</p>  <p>3 Activity1</p> <p>Do you like soccer?</p> <p>No, I don't.</p> <p>(1,2,3、あ、かぶきだ)</p> <p>Do you know Kabuki?</p> <p>本時に身に付けたい単語や表現をゲームの中で、意図して発話させる。</p> |
| かんがえる | <p>4 Activity2</p> <p>○コミュニケーションを意図した、必要感のある活動</p> <p>発見のある、自分のことを伝えたい場を設定し、相手意識を持ったコミュニケーションを図る。</p> <p>コミュニケーションポイントを確認する。</p> <p>Do you like dodgeball?</p> <p>Yes, I do.</p> <p>Welcome to Japan. Do you know Mt.Aso?</p> <p>人気の遊びを調べよう</p> <p>日本の文化や自然について紹介しよう</p> |
| まとめる | <p>5 Look back</p> <p>○本時の学習の振り返り</p> <p>本時の中で分かったことできたことを共有する。</p> <p>「振り返りシート」をもとに本時の学習を振り返る。</p> <p>好きな色をたずねるときは "What color~?" と言うことが分かりました。</p>  |

UDの視点

黙想から授業が始まります。

ルールの明確化

黙想



話し手は、教室の8点から、聞き手に向かって発表します。

8点発表

メニューボード



時間の構造化

メニューボードを使い、1時間の授業の流れに見通しを持たせています。

視覚化

ピクチャーカード

新しい表現等はカードで示して、活動への不安感をなくしています。

デモンストレーション



活動の仕方やルールを理解するためにデモンストレーションを行います。

コミュニケーションポイント



表情豊かに 身体を使って 反応豊かに

共有化



ペア、グループ、全体など多様な学習形態で、自分の考えをアウトプットできるようにしています。